



Maselli botteghe d'arte
マセリ [雑貨店]

2代目のオーナー、ガブリエル・マセリ氏は、ウフィツィ美術館所蔵の絵画の額縁も手掛ける名工。フィレンツェの歴史を彩ったさまざまな時代の様式を取り入れ、デザイン、形制、色彩、金箔貼りなどで、すべてハンドメイドで作られる額縁は、絵画に勝るとも劣らない芸術品。
Via Ghibellina 51r 50123 Firenze
+39 055.28.21.42
www.cominciametelli.com

ARTIGLIANO



express 4

家

具、陶器、革製品、銀細工、ドア

ノブから蛇口に至るまで、暮らしに必要なものすべては、路地裏の小さな工房で作られる。100年ものでも直し、欠けた装飾や足らない部品もどうにかして新品同様に眺める。フィレンツェ職人のモノ作りへの姿勢は、陽気なイタリア人気質も手伝って、一見楽しそうにも見えるが、その探求心の強さは、やはり遺伝子レベルで600年の歴史を受け継いでいるようだ。

父親が始めたフレームショップを継ぐガブリエル・マセリはこう語る。

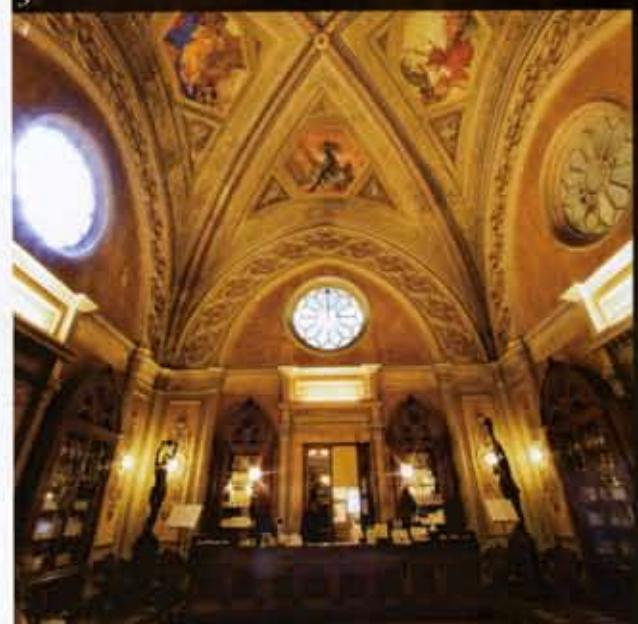
「知識と知性はあらゆる創造を変えていきます。しかしそれは、革新ではなく、あくまで私たちの感受性に依るもので、一枚の絵を飾るフレームにも、喜びをもたらす美の世界があり、様式を応用し、発見に繋げることが私たち職人に譲された使命なのです。」

古都
ROUND FOR RENAISSANCE
ITALIA 巡礼
オリエンタル急行の旅

FRANCESCO
PAGLIA

FIRENZE

美と知の邂逅、ルネサンス。その輝きは永遠に。



3.14世紀に造られたフィレンツェ最古の橋、ヴェキオ橋からサンタチニタ橋を臨むアルノ川のクセ。4.2ニコロザビエリの鐘塔。5.トスカーナのハーブや草花を原料に薬を開発した最古の薬局「サンタマリーア・ノヴェッラ」。6.オコシング様式の豪華な室内には、18世紀の豪華な装飾や王室貴族のサインブルク、洞窟に使われたガラス瓶など、当時を偲ばせる品々が数多く展示されている。

ARTIGLIANO



Perko Bottega Orafa Artigiana
ペンコ [宝石店]

オーナーのパオロ・ペンコ氏は、19歳でローナハスブルグとともに18世紀にフィレンツェに移り住んだ金細工師の末裔。フィレンツェ伝統の金細工技術と古代遺跡や建築、名画をモチーフにした独創的设计が世界に類のない芸術品を生み出す。
Via F.Zannetti 14-16 50123 Firenze
+39 055.21.16.61
www.perkofirenze.it



5 express

サ
シタトリニタ橋から
ナブオ上二通りは
ファションブランドの宝庫
1992年にゴビビングで開
業したフェラガモを筆頭に
グッチの本店やプラダ、アル
マーニなどのイタリアを代表
する有名ブランドが鳞羅星
のごとく点在する。また、メ
ディチ家の信望を得た同店
は、16世紀にオーデコロンの
起源とも言われる「アック
ア・ダグラ・レジーナ」を開発。
フランスのアンリ二世のもと

も見逃せない。

19世紀半ばに改装された
店内は大航海時代に栄えた
ドミニコ修道会の礼拝堂

で、修道士たちが薬草を調
合し、病人の治療にあたる
施術院でもあった。その後メ

ディチ家の信望を得た同店
は、16世紀にオーデコロンの
起源とも言われる「アック
ア・ダグラ・レジーナ」を開発。

1.2.アーチ形の二つの礼拝堂を持つサン
ティアゴ・アントニオ・アーテ教會。パロ
ゴ様式で統一された壁面や祭壇はフル
フェルモーらしいと言われる。



に嫁いたカテリーナ・ディ・メ
ディチのために特別調合さ
れたこの香水は、ブルボン王
朝の貴婦人たちにも愛用さ
れたという。香りの歴史もこ
こフィレンツェから始まったの
である。
夕暮れ時、宝石商が軒を
連ねるヴェキオ橋が大勢の
観光客で賑わいだす。トス
カーナの丘から吹く南風が
アルノ川の彼方に幾筋もの
雲の波を描いていた。やがて
紺碧の空が次第に赤味を
増し、街全体を深紅に染め
ていく。ルネサンスの至宝、
フィレンツェ。その一瞬の光景
は、時の流れさえ止めてしま
うほどの莊厳な輝きに満ち
ていた。

